

2015/12/1

しろひげ@Kurobane です。

12月になりました。

指折り数えるほどの歳末となり、今年もあっという間に「数え日」です。

「もういくつ寝るとお正月」と歌い、お年玉やハレの食卓を待ち焦がれた遠い日々、懐かし色に染め上げられて、いつまでも記憶のなかで消えません。

しかし、今はむしろこんな句に心惹かれるようになりました。

なにはさてあと幾たびの晦日蕎麦 変哲

作者が生前に創り上げた「小沢昭一的ころ」の世界の域と粹に、私も少しは近づいてきているということでしょうか。

気分は暮れの区切りにせわしく追い立てられるいつもの「数え日」ですが、2015年が過去の歳月にまじる前に、じっくりと考える時間だけはもちたいものです。

ひるがえれば、今年ほど政治家、為政者たちの専横ぶりと質の劣化を露わにした年はなかったような気がします。

長年積み上げられたこの国の憲法解釈を一つの閣議決定で反故にし、56年も前の一判決を法律家でなくとも筋違いと分かるかたちで整合性を根拠にし、首相も大臣もまともな答弁が出来ないような法律を上程した上に、与党議員の多くが不勉強のためにその内容を理解さえしていない、これほど不真面目な所業があったでしょうか。

矢継ぎ早に実現されていく政策のどれもが、私たちの意識と生活とかけ離れ過ぎていく、2015年がその傾向を加速させる始まりとまらないことを祈りたいものです。

ところで、今年は私の家族に新たな命が仲間入りしました。

だからこそ、というわけでもありませんが、

この国の未来を担う若者たちが路上で声を上げる姿を眩しく感じながらも、自分たちも次

の世代へ何を残していくべきかと、考え続けねばという思いを新たにしています。

「希望」を捨てないかぎり、「敗北」はないと、心に言い聞かせながら新しい年を迎えましょう。

1年間、「しろひげ的ころ」にお付き合いいただき有難うございます。

皆さま方からの共感の声や激励に感謝しながら、忘れ得ぬ年のあいさつを終わります。

よいお年を。

黒羽根整形外科  
黒羽根洋司